発行：福島県立喜多方桐桜高等学校保護者と教師の会

祝 創立10周年

福島県立喜多方桐桜高等学校創立10周年記念式典

絆

校訓 士魂商才 勤労誠実

第20号
発行日　令和２年３月１日

福島県喜多方市豊川町米室字高吉4344の5
TEL 0241-22-1230　FAX 0241-22-9852
URL https://kitakatatooh-h.fcs.ed.jp
印刷／会陽堂 有限会社 佐藤印刷所（会津坂下町）

創立10周年の節目祝う

生徒代表
佐藤力哉

創立十周年記念式典は二十六日行われた。在校生、来賓ら約七百人が出席した。佐藤浩正校長が「創立時の地域の熱い思いに応えられるよう、社会で活躍していく人材を育てていく」と式辞を述べた。同窓会長の宮城マツ子創立十周年記念事業実行委員長があいさつした。佐藤校長と宮城委員長が歴代の校長、同窓会長、PTA会長、永年勤続教職員に感謝状を贈った。遠藤忠一市長らが祝辞を述べ、生徒代表で佐藤力哉（二年）があいさつした。本校は二〇一〇（平成二十二）年、喜多方商業と喜多方工業が統合して開校した。在校生は四百九十八人で、約千八百人の卒業生を輩出している。

同窓会会長
宮城マツ子

記念講演 創立10周年式典

母校の発展に心ひとつ

詩人
和合亮一

プロフィール

◆和合亮一（わごう・りょういち）
1968年福島市生まれ。詩人。国語教師。中原中也賞、晩翠賞、みんゆう県民大賞、NHK東北文化賞など受賞。震災直後にTwitterにて福島の現状を詩の言葉で伝えた。

本校の校歌を作詞した福島市の詩人和合亮一さんが「桐よ桜よ、歌を、学び舎を育てて」と題して記念講演した。和合さんは歌詞に込めた思いや自身の学生時代を振り返り、古里で生きる大切さなどを伝えた。

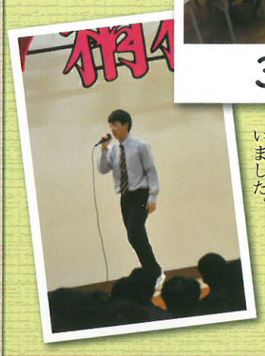
講演の最後に全校生で校歌を斉唱し、和合氏に感謝の気持ちを表わした。

創立10周年を記念して完成した「憩いの広場」

憩いの広場 完成喜ぶ

中庭に新たに整備された「憩いの広場」の落成式は二十五日行われた。

創立十周年記念事業の一環、企業連携実習の授業を通して、建設科の一年生から三年生合わせて百十一人が地元の建設関係企業と協力して施工した。広場で記念撮影し、学校の新たな名所の完成を喜んだ。



桐桜祭実行委員長
鈴木 海空斗

2019桐桜祭を終えて、どんな文化祭だったでしょうか？

三年に一度の文化祭で実行委員長という大きな役目を経験できたことに達成感や高揚感がありました。準備期間から頑張ってきて良かったです。

ご協力ありがとうございました。

最優秀賞

２年３組（乾杯）

最優秀賞

３年３組（娯楽広場）

クラス立て看板コンテスト

最優秀賞

２年３組
（ジェットコースター）

鈴木日菜子（２年２組）

クラスパフォーマンス

優秀賞

３年１組（山本王国）

ユーモア賞

１年３組（ガリガリ君早食い競争）

クラス企画

優秀賞

２年３組（ジェットコースター）

ユーモア賞

３年４組（呪寺）

校長賞

３年３組　娯楽広場（コーヒーカップ・喫茶店）

感謝状	ポスター	２年２組	鈴木　日菜子
クラスパフォーマンス		最優秀賞	２年３組（乾杯）
		優秀賞	３年１組（山本王国）
		ユーモア賞	１年３組（ガリガリ君早食い競争）
クラス立て看板コンテスト		最優秀賞	２年３組
		優秀賞	１年３組
		努力賞	２年２組
クラス企画		最優秀賞	３年３組（娯楽広場）
		優秀賞	２年３組（ジェットコースター）
		努力賞	３年４組（呪寺）
校長賞		建設科	１年３組・２年３組・３年３組（代表）
クリップモーターカー		最優秀賞	３年２組
		準優勝	２年２組
		３位	１年１組
		アイディア賞	３年３組
桐桜生クイズ	優勝	３年３組	田中　元

PTA会長あいさつ

会長
弦弓勝美

三学年の生徒・保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

今年度も多くの会員の皆様、そして先生方に支えられ、一年間様々な活動がスムーズに行えました。感謝申し上げます。

昨年十月に行われた桐桜祭、十周年記念事業において、生徒の皆さんの活発な行動力や団結力などを感じ、私自身生徒の皆さんからパワーを頂き、勉強させて頂いたと思いました。これからも生徒の皆さんや先生方がより良い学校生活が送れる様、保護者の皆様の益々のご協力をお願い申し上げます。

一年間多くの方々に大変お世話になりました。ありがとうございました。

学校長あいさつ

校長
佐藤浩正

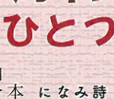
こうしている今も、社会は変化しています。米国の識者は、「今後十年～二十年で、約47％の仕事が機械化される可能性が高い」と予想しています。

この社会で生き残っていくために必要なことは「自ら変化する力」つまり、変化に応じて、その都度必要となるものを習得する柔軟さが必要なのです。

ダーウィンは「最も強いものが生き残ったのではない。最も賢いものが生き残ったのでもない。最後に生き残るのは、変化することができるものである」と述べています。

しかし、一方で時代の流れに惑わされることなくいつまでも守り続けなければならないものもあります。家族や友を大切にする心、思いやり、生まれ育ったふるさとの自然や文化を愛する心などは、時代の変化に関係なく決して失わないで欲しいものです。

同窓会会長あいさつ



会長
宮城マツ子

喜多方桐桜高等学校創立十周年記念事業も滞りなく終了致しました。

十年、地域の方々に「桐桜高等学校」という名を覚えて頂く事ができましたね！挨拶、礼儀正しき生徒、勉強・部活動に励む姿。頼もしく嬉しく思います。

この熱い姿を後輩に伝えて下さい。

次は「福島県に桐桜高等学校有り」と言って頂けたら良いですね。

「私共同窓生も微力ながら応援しております。

最後になりますが、三年生のみなさん・保護者の皆様におかれましては、ご卒業おめでとうございます。新しい人生への船出、期待しております。時折学校を、緑豊かな古里を思い出して下さい。